

# あかね

NO 1  
'76, 1, 22

発行 あかね保  
育園建設委員会

新しい年も明け、あかね保育園の建設も四月開園に向けて急ピッチを進んでいます。

昨年は、数多くの人たちから建設資金カンパを寄せていただきありがとうございます。私には、カンパにこめられる様々な思いを受け止めながら、できるだけあかね保育園を知ってもらい、皆さんと経験やら意見を交換しながら、保育運動のセンターにしたいという願いをこめて、この通信を発行することになりました。

現在、工事は、外装（コンクリート打ち）がほぼ終りつつあります。各部屋や階段など内部の輪郭ができ、具体的に保育室の様子などをイメージできるところになりました。近くには是非お立ち寄り下さい。

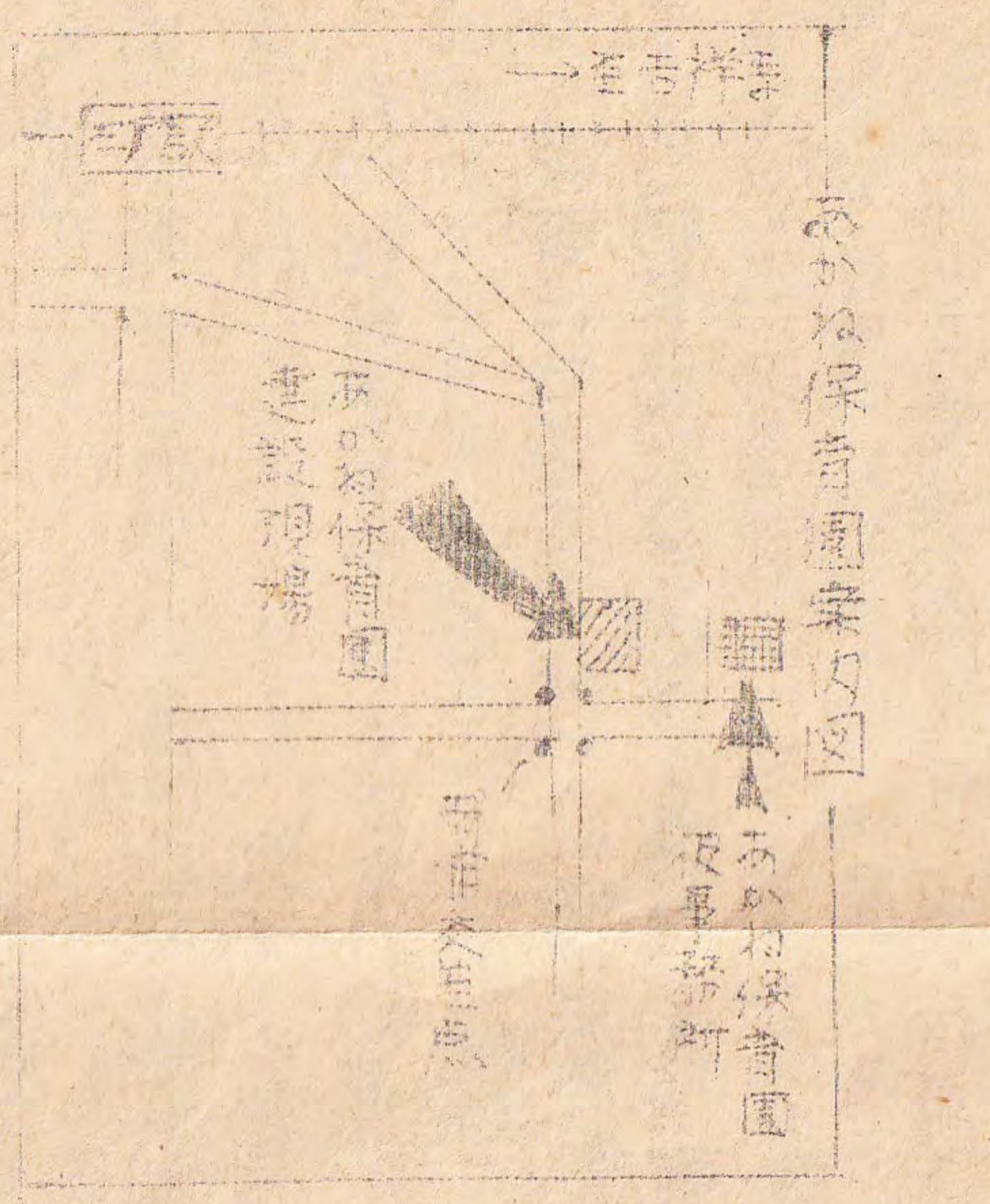
一方、四月開園に向けた準備は、エネルギーのカタマリのような若い職員たちを中心にするめられています。慣れない

数字を横目でにらみながら、労働条件や資金の問題を討論すると、予算という枠にぶつかって人員配置をどうするかを検討すると最低基準にぶつかって身をもって現在の保育行政の問題を感じながら、こうした問題の解決をあかね保育園が先頭になってやらなくちゃという意気に燃えています。

保育の円滑については、保育行政の矛盾からとすれば、管理としての保育になりがちな現実の保育所保育を、真に子供の全面的発達を保障する教育の一環として、どのようなプログラムをたてるのかなど活発な討論を重ねています。又、現在保育をめぐって核心的な問題になっている長時間保育や、保育料値上げ、育休法などについての討論が開始されました。

やがて二月、三月と目のまわるようにならしてお待ち受けているのですが、園見以上に四月の開園を首を長くして

待っています。次号から、具体的に討論の内容なども載せたいと思います。皆さんからの投稿もお待ちしています。



○ ◀お願い▶  
保育用品が不用なものがありましたら、御一報下さい。  
あかねで役立てたいと思います。  
連絡先 = 三鷹市下連堂  
1-28-14  
吉田 正 佐藤 新  
あかね保育園建設委員会



# グループ討論(保母ト)

保育園の建築工事が着々と進む中、保育内容と、保育方針についての職員会議が持たれた。その中で、保育園での生活の流れを決めるデイリー・プログラムを作成が、まほろのの仕事となった。この二つ見るとそれぞれが討論があまり、園長、教養士を含む他の園の見学と資料をもとに、また、保育現場を働く保母の意見を聞き、園に見られる様々な問題を改善しながら、一応の案を作成した。職員会議での進行、このつと昼食を柱におおまかな日程が決められた。グループ討論から、いくつか拾ってきたと子供達の立場に立って、保育とはどういうものか。保母以外の職員と子供達が接するにはどのようにするのがより、保母の思いなのか) 年令別保育と混合保育、食料の種類(海苔、ミネミミ等)安全保育のための管理、遊具、保育室の利用方法、そして保母にこそ、一番の関心とも言える勤務体制、実所何時間にするのか、年休と生休、長短

勤務それに關するものとして、長時間保育について、どのようなにするのか上げられ、私立の認可保育とすること、定時に働く保母の手で内容が作り上げて行くだけに、かなり慎重な討論がすすむられた。これまでも保育園が経験してきた職業病などの問題点、が起つないような勤務体制、人員配置、保育内容の管理する保育士は(等)等が重要と(な)ている。今後、それらの問題点が整理工

## 開園に向けて 若さあふれる職員の声

れ討論され、具体的内容が決まることとなるが、より多くの人達の参加を促すから子供、保母、父母の立場を考えた保育をすすめる(い)と思う。

### 栄養士と保育士

あかぬ保育園建設のために日夜奮闘している園長をはじめとする職員達の努力と皆んなのかこぱの御協力によって四月がうい(開園する運びとなりました。生まれてま

は(の)才から(や)と一人前に作けるようになったアオ、おしやべりの好きは(オ)見までの保育といふことと、責任の重大さをひしひしと感じています。一般的に保育園は「まほろ」的(専)業でとられられていると思つたのですが、子供達の健全な発達のためには、保護者の家庭は、いうまでもなく、自衛であろうと母親が(専)業に専念して(い)よつとも、すべての子供達に必要した保育所が保障されなければならぬ(と)考え(い)ます。子供達相互の集団の中から、職員と子供達の関係の中から、やがて社会に育つていく人間としての真の人間関係の基礎が培(ゆ)れていくのでは(い)ない(と)しようか。現在ある保育園は設備、職員の人数その他いろいろ(の)点で不十分で(い)う(た)ことが(保)障(さ)れ(る)とは残念ながら(い)え(ま)せん。しかし、子供達の未来のために、父母の方々、保母さん達と(オ)合せて(か)ん(が)ば(ら)ない(と)思(い)ます。私は調理室を担当します。幼児の給食は(給)め(て)ですが、栄養士としての経験(を)いかして保育に(た)ず(さ)わ(ら)る(一)人の職員(の)労働(者)として、給食も保育実践の一環として、取り組んで(い)きたい(と)思(い)ます。子供達の嗜好、離乳食、昼食、おやつと種類の多(く)中で、能率的なお(い)い(し)い(食)事、衛生面について(考)え(て)いる(真)最(中)です。幼児食給食の園内に(関)して(は)資料(マ)ド(バ)イス(を)提供(し)て(た)ま(は)い(と)思(い)ます。

あかぬ保育園建設委員会